

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 (火)1、2 (水)1、2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語 I (Chinese I)		
対象年次 一年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	火・1:La・b、火・2:E6、水・1M11・12、 水・2: P18・19+F 二	科目分類	外国語科目(中国語)
担当教員: 劉 愛莉 /E メールアドレス:kym_ar@hotmail.com /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-887-3467 /オフィスアワー: 火曜日、水曜日 12:00~13:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業 のねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(日常挨拶、名前・国籍のたずねかたと答え方、数の数え方、年齢のたずねかたと答え方、大学の紹介、家族についての聞き方と答え方)ができるような基礎力を養う。</p> <p>授 業 方 法: 発音練習を重点に、また本文、文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。</p> <p>授業到達目標: 中国語の正しい発音を身に付けし、漢字の書き方に慣れると同時に単語をしっかりと覚え、初歩的な中国語文法を習得する。</p>			
<p>授業内容(概要)</p> <p>内容:最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節、声調変化)、簡単な挨拶を習得し、第6回目から単語、文法(“是”構文、疑問詞を使った疑問文、存在を表す動詞“有”“在”、所有を表す動詞“有”)、短文・会話文(自己紹介、家族の紹介、年齢の言い方…)などを勉強する。練習問題にも取り組み、テキストの内容に即して中国文化にも触れる。</p> <p>第1回 中国語について 単母音と声調 第2回 母音(二重母音、三重母音) 第3回 子音 第4回 n ngをもつ母音 音節とその読み方 第5回 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶 第6回 第1課「自己紹介」 第7回 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文 第8回 第2課「私は大学生です」 第9回 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法 名詞述語文 第10回 第3課「私たちの学校」 第11回 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞 第12回 第4課「私の家族」 第13回 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞” “的”の省略 第14回 総合復習(第1課~第4課 存現文) 第15回 まとめ(試験を含む)</p>			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト:『実用中国語10課』 (白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。習った単語を覚え、宿題を完成すること。 教科書、筆記用具、辞書必携。		